

From the
People of Japan

腐敗防止と平和構築のために、 統治における透明性と説明責任を促進するプロジェクト

\$ 予算: 2,033,752 米ドル

🕒 実施期間: 2022年12月 - 2025年11月

開発課題

汚職、脆弱なアカウンタビリティ・メカニズム、不処罰は、安定、平和の定着、社会経済開発を妨げ、保健、教育、社会保護、司法などの分野から資源が流用されることにつながる。これは、特に社会から疎外されたグループや農村部の人々に不釣り合いな影響を与える。制度に対する国民の信頼と投資に対する企業の信頼は依然として低い。そのため、ギニアビサウ政府は汚職撲滅を優先課題としている。その結果、UNDPの支援を受けて汚職と闘う国家戦略が策定され、不処罰、行政における説明責任と透明性の欠如、公的資源管理、特に地方の社会的弱者へのサービス提供などの問題に取り組んでいる。プロジェクトは、特に公共資源管理と市民へのサービス提供における透明性の向上を通じて、戦略の実施に貢献している。

プロジェクトの目的

このプロジェクトの目的は、汚職と闘う国家の能力を強化することによって、住民に提供される公共サービスの質を向上させることである。これは、3つの具体的な目標を通じて行われる:

「汚職と闘うための国家戦略」と UNDPの「デジタル戦略」に依拠し、デジタル技術を活用して、解決方法の提供・実施、共創、協力、提唱における革新を通じて課題を解決することに焦点を当てる

課題を克服するための技術活用に関連した経験を、国内での数少ない経験（公文書／データのデジタル化や国民IDシステムの構築に関するUNDPプロジェクトのような）と、同様の開発課題を抱える国々での経験の両方に基づいて構築する

汚職の発見、分析、調査、予測、監視のためのデジタルツールの活用といった、汚職の防止・撲滅のためのアプローチと、効率的なサービス提供のための電子政府など、効果的で説明責任を果たし、包括的な制度やガバナンスプロセスの推進による防止アプローチ

プロジェクトの成果

監査機関と行政の
能力向上

汚職防止中央
メカニズムにおける
デジタル・
ソリューションの
利用可能性

主要な国家機関に
ブロックチェーン・
システムを導入

変革の代理人
(Agents of Change)
を通じて透明性の
文化を促進する

汚職削減に
成功している
公的機関の育成

パートナーシップ

副首相府
法務省
反汚職ギニア協会および監査裁判所

SDGs への貢献

16 平和と公正を
すべての人に

